


# まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

## 令和5年度幼児環境教育推進事業 「第1回秋の森でおさんぽの会」

秋の森を歩きながら、親子でおさんぽを楽しみましょう！

- 【開催日】 令和5年10月9日(月) 
- 【時間】 9:30~13:00(予定)
- 【内容】 秋の森歩き
- 【対象】 町内の2歳以上の未就学児とその保護者
- 【参加費】 200円
- 【定員】 10組(30名程度)
- 【締切】 令和5年9月28日(月)まで

### (申込み・お問合せ先)

QRコードから申込みください。  
屋久島環境文化研修センター  
TEL0997-46-2900



E-mail:kensyuu09@yakushima.jp (担当:小泉)

## 屋久島世界自然遺産登録 30周年記念特別事業



屋久島の山岳信仰の体験と自然をめぐり、生命が満たされる4日間を過ごします。

- 【開催日】 令和5年10月3日(火)~6日(金)
- 【内容】 岳参り体験(宮之浦岳) & 里めぐりツアー
- 【対象】 55歳以下
- 【参加費】 83,000円(宿泊費、食事代、保険料など含む)
- 【定員】 合計8名まで(最小催行人数5名)
- 【締切】 令和5年9月15日(金)まで
- 【共催】 屋久島観光協会
- 【後援】 鹿児島県・屋久島町

### (申込み・お問合せ先)

QRコードから申込みください。  
屋久島環境文化研修センター  
TEL0997-46-2900



E-mail:kensyuu06@yakushima.jp (担当:福元)

## 令和6年度 屋久島環境文化財団インストラクター募集について

令和6年度採用のインストラクター(環境学習研修指導)を募集します。

応募資格、応募方法など、詳細は財団ホームページをご覧ください。お電話でお問合せください。

- 【募集人員】 若干名
- 【募集期間】 令和5年8月14日(月)~令和5年10月6日(金) 午前9時~午後5時
- 【業務内容】 「屋久島環境文化研修センター」を拠点に、「自然・文化体験セミナー」等の自主事業の企画、運営等

### (お問合せ先)

屋久島環境文化財団事務局 TEL:0997-42-2911 HP:<https://www.yakushima.or.jp/>



## 第4回 屋久島研究講座

### 小笠原諸島 ~進化と変化を続ける島々の自然と暮らしを紡ぐ人々~

- 【日時】 令和5年10月9日(月) 19:00~20:30(受付18:30~)
- 【参加費】 無料
- 【場所】 屋久杉自然館
- 【講師】 小笠原村役場 環境課 自然保護係 主査 井上 直美
- 【申込み】 事前申込み不要

※受講証明書の発行を希望される方は、当日受付時にお申し出ください。



# 「タコの枕」か「きんつば」か

# インストラクター便り

インストラクター 中村 幹 (かんちゃん)

先日のこと。海辺で「たこのまくら」を拾いました。

大きさは10cmくらいのメダル状。貝殻のように硬く、表面には細かいイボがあり、中央に花のような模様。一部欠けている断面から、中は空洞であることが見てとれます。

さて、この「たこのまくら」、一体何なのでしょう。

その正体は、砂礫の多い浅い海にすむウニの仲間。

一般的なイメージのウニとは違い、砂にもぐるのに邪魔なとげは短く目立たず、背に花のような模様からも一見生きものには見えません。言われれば枕のようでもあります。なぜ、「タコ」なのでしょう。

実はこの「たこのまくら」という呼称、もともとは現代でいう「ヒトデ」のことを指す古い呼び名でした。

多くの腕を持つヒトデの姿を、足の多いタコが体を休めるための枕になぞらえての呼び名で、これが明治時代から生物の学術的な呼称が整理されていくにつぎ、イメージの近い現「タコノマクラ」の和名として使われることになったのだそうです。

では江戸時代以前、「タコノマクラ」は何と呼ばれていたかということ、「饅頭介(まんじゅうがい)」や「焼餅介(やきもちがい)」、「きんつば」(そのまんま!)など、おいしそうなる名前ばかり。確かに、ふわっとした丸みのある見た目はいかにもおいしそうです。

ご先祖様はよほど食い意地が張っていたのかと思いきや、なんと外国語でも Cake urchins (英語: ケーキウニ)、Galletas de mar (スペイン語: 海のクッキー) など、やっぱり考えることはどこでも同じ。言葉は違っても共通したイメージを持たれるというところが、生きもの名前というものは面白いと思ったところでした。

ところで、肝心の「きんつば」が食べられるか否か、ですが、一般のウニに比べはるかに分厚く硬い殻をもち、おまけにほとんど中身も詰まっています。食用にされることはありません。残念!



## 特別企画展 口永良部島写真展

財団が保有している口永良部島の写真展示を行います。この機会にぜひご来館ください。

期間: 令和5年9月1日(金)~9月30日(土)

場所: 屋久島環境文化村センター交流ホール



## 寄付をいただきました

8月19日に屋久島でライブを開催されたシンガーソングライター宮井紀行様よりライブ収益の一部から寄付をいただきました。

ありがとうございました。



## 屋久島を想う

事務局次長 金井 俊久

上り編(縄文杉を探して..)

心地よい向かい風になびく前髪の軽さが気になる今日この頃。ある朝、私は、蝉時雨と朝日を背に受けて、坂道を登り始める。まだ何メートルも

歩いていないのにヤクザルを目にすることができた。

その顔は少し微笑んでいるように見えた。しばらく行くと早速ヤクスギのお目見えだ。だが

目標はあくまで縄文杉。そう、幻の「縄文杉」。

「おはようございます。」すれ違う学生達が元気よく挨拶してくれる。仲良く並んだ3羽のシマメジロを横目で見ながら勾配のある坂道を上へと進む。ある程度登りきった所でなんと、アカウミガメに遭遇。

(こんな丘の上で.. さすが屋久島!)

(10月号へ続く。)



【9月・10月の休館日】村センター・研修センター休館日は同じです。

9月: 4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(月)

10月: 2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

